

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (臨床入門 I・II)	
I. 倫理観とプロフェッショナリズム			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。			
4	個人の尊厳を尊重し、心理・社会的要因と多様性を理解し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。	C / B	医師としての態度・価値感を模擬的に示せることが単位認定の要件である (Applied)
6	常に自己の心身と社会的状態を評価し、良好な状態 (ウェルビーイング) を保つことができる。	B	
II. コミュニケーション			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 良好な人間関係を構築し、情報を適切に取り扱い、わかりやすく伝えるために、以下の行動ができる。			
1	個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴し、共感、理解、支持的態度を示し、信頼関係を築くことができる。	B	医師としての態度・価値感を模擬的に示せることが単位認定の要件である (Applied)
2	他者やそれを取り巻く状況に配慮しながら、適切な方法で、必要な情報収集や情報伝達を行うことができる。		
III. 医学および関連領域の知識と応用			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。			
1	人体の構造と機能 ・診察に必要な基本的解剖学が説明できる。	F	医師としての態度・価値感を模擬的に示せることが単位認定の要件である (Applied)
3	心理と行動 ・診察に必要な心理、行動に関する知識が説明できる。		
4	病因と病態 ・診察に必要な構造と機能の異常が説明できる。	B	
6	治療、予防 ・診察に必要な医療安全知識を説明できる。		
IV. 診療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。			
1	医療面接を実施できる。	C	医師としての態度・価値感を模擬的に示せることが単位認定の要件
2	身体診察を実施できる。	F	

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (臨床入門 I・II)	
3	基本的臨床手技を実施できる。	C	である (Applied)
5	臨床推論により診断ができる。		
7	治療計画を提案できる。		